



「人たらしたる人物とは」



NHKの2026年の大河ドラマが「豊臣兄弟」に決まったことが、今年3月に発表されました。豊臣と言えば、秀吉が天下統一を成し遂げた人物だということは3年生のみなさんはよく知っていることでしょう。そんな秀吉は歴史上でも最も「人たらし」であった人物の一人として言われています。人たらしとは、多くの人に好かれたり、愛されたりする人のことを言います。秀吉のエピソードを2つ紹介します。秀吉は天下統一までのたくさんの戦場で、何度も劣勢な状況に追い込まれたと言われています。1570年の浅井・朝倉軍との戦いにおいては、敵軍の巧みな戦術にはまり、当時秀吉にとっての絶対的リーダーであった信長も絶体絶命の状況に追い込まれてしまいました。この状況で秀吉はどのように『動』いたのでしょうか。信長を退却させるために、約6000人だったとも言われる敵の攻撃を自分が一手に受けるという危険な行動をとったと言っています。また、下積み時代には、どう考えても簡単に動かすことができない巨石を動かすよう、当時のリーダーが秀吉をはじめとする多くの家来に指示した時のことです。秀吉はこの役目を果たそうと、黙々と一人で作業をしたそうです。しかし、数日たっても当然石は動きません。そんな秀吉の姿を周りで見っていた家来たちも、彼の本気の姿を見て、一人二人と協力し始め、ついに石を動かすことに成功したという話があります。秀吉の姿が、多くの仲間の心を動かし、秀吉の思いが仲間との『つながり』をもたらしたと言える出来事だったと言っています。そして、1590年に全国統一をしたという出来事が、現在の教科書の1ページを『つくって』います。

さて、本校では先日、生徒会執行部より学校スローガン「愛される知中生」が発表されました。また、このスローガンを達成するために執行部からは『動く』、『つながる』、『つくる』の3つの柱が示されました。3年生の生徒たちは先月、修学旅行という大きな行事を終えました。生徒たちの修学旅行のまとめ新聞を読んでいると、「自由度が高い日々を過ごしたからこそ、自分たちで一つの行事を『つくりあげた』」、「残された学校生活や行事にも『つなげて』いきたい」という思いを書いていた人も多くいました。

では、3年生にとって次の行事は何でしょうか。もちろん、最後の夏の大会ですね。勝負事は時に、劣勢になる状況もあるかと思いますが。だからこそ、仲間が本気でプレーをする姿や『動き』をしっかりと見つめ、ともに過ごしてきた時間を思い出しながら懸命に戦ってくれることを願っています。

ます。また、一つ上の先輩たちやここまでサポートしてくれた後輩、保護者の思いを自分のプレーに『つなげて』ほしいと思います。どんな状況でも最後までやりきった者にしかわからない景色や感情が必ずあると私は信じています。そこで感じたことや思いを、ぜひ自分の未来を『つくりあげる』ためのエネルギーにし、そして、仲間を愛し、「愛される知中生」であってほしいと思います。

暑い日々ですが、生徒たちの体調にも気を配りながら我々教員も、ともに過ごす夏の一分一秒を大切にしたいと思います。今後とも御支援よろしくお願いたします。



☆家庭科で、保育園ふれあい体験を実施しました。みんないい笑顔で活動していました。☆